

認定特定非営利活動法人大阪自然史センター

2021年度事業報告

2021年1月1日～12月31日

I 事業実施報告

今年度の大阪自然史センター定期総会は新型コロナウイルスの感染防止のため、昨年2021年に引き続きオンラインで総会を開催することといたしました。

2021年度は大阪自然史センターがNPO法人化して20周年を迎えた年でした。

そのような区切りの年であったものの、新型コロナウイルス感染症が2020年初めに報じられ、その後、何とも歯がゆい状況がいまだに続いております。

変異株による感染再拡大で、母体となる博物館活動も支障が生じる中、特別展の会期がわずかな期間に抑えられ、対面行事の中止が続くなど、なかなか見通しが立ちません。講演会などはインターネットを利用してオンラインで開催できるようになりましたが、自然とのふれあいは生身であるからこそ身につくものです。五感を駆使して知ることはバーチャル技術が進歩しても代替することはできません。子どもたちから自然とのふれあいを通して身についた感覚が大切です。

理事長のメッセージにもありますが、そうしたきっかけの一つに博物館があることは疑いようがなく、次世代を担う若い人たちにそうした経験を積んでもらいたいと考えています。

博物館だけでなく、センターの活動も大きな制約を受け、とくにミュージアムサービスの柱となる館内のミュージアムショップへ立ち寄られる方も減少し、また、子どもワークショップの運営、博物館友の会のサポートなど、多様な活動を通しての博物館事業の支援活動も中止・延期をやむなきに至りました。センターは認定NPO法人として事業の受注と実施を通して、スタッフが日々の生活の糧を得ています。多くの収入の道を閉ざされ危機的状況となりました。そこで、事務局内での検討を重ね、日常業務や履行責任を伴う業務がおろそかにならないようにするとともに、センターの灯を絶やすことのないよう、スタッフの雇用を続けてきました。

このような逆境ではありましたが、嬉しいことに新しい仕事のお声掛けをいただいたり、営業中のネットショップには従来に増すご注文をいただきました。何よりも、法人設立20周年の節目となる「大阪自然史センター20周年記念寄付～博物館の可能性を広げ続けて20年～」の呼びかけをさせていただいたところ、多くの方々から多額のご支援をいただきました。

今回の寄付キャンペーンは、私たちのミッションである「社会と自然と博物館をつなぐ」活動を継続させるため、これまで積み上げてきた成果を次の世代にしっかりと手渡すことを目的としています。自然に親しみ、実物とふれあうことによって得られる何事にも代えがたい、博物館ならではの経験をサポートしようとする、意欲にあふれたスタッフを維持し、自然に親しもうとする博物館のユーザーコミュニティの深いご理解があつてのことと深く感謝しております。

2022年もコロナ禍の進展が気がかりではありますが、設立21年目の年として、初心に戻り堅実な事業を継続する方針です。自然が身近なことに気づいてもらえる機会をつくり、博物館のユーザーコミュニティを拡充し、自然に親しもうとする市民や市民団体とともに「自然史科学の発展と普及」に資する事業展開につなげていきたいと考えています。意欲・経験・技能を伴わせ持つ社員の皆様には、友の会事業を始めとする各種事業に参画していただくなど、幅広い活動の支えを期待しています。

II 各事業について

1. 友の会事業

[内 容]

大阪市立自然史博物館友の会を組織し、会報 Nature Study 毎月の 12 回発行と月例ハイキングや友の会イベントなど自然観察事業を実施した。(コロナウイルス感染防止対策の影響により中止の行事も多くあった)

[場 所]

大阪市立自然史博物館および大阪府内など

[日 時]

2021 年通年

[対象者]

大阪市立自然史博物館友の会へ入会した市民等 1477 名(うち賛助会員 101 名)

2. ミュージアムサービス事業

[内 容]

大阪市立自然史博物館・花と緑と自然の情報センターへの来館・来場者に自然史科学の普及およびサービスを実施するため、大阪市から占用許可を受け、博物館の掲げる趣旨に沿って、自然史に関する書籍・自然観察道具やグッズ等を特別展示や各種イベント開催に合わせて販売。多くの博物館来館者に満足していただけるようサービスの提供に努めた。

新型コロナウイルス感染拡大の影響に伴い、学会・イベント等の開催中止が相次ぎ、2020 年に引き続き、出張販売の機会に恵まれない一年ではあったが、開催されるイベントには積極的に出展し、オンラインイベントと合わせて販路の拡大に努めた。また、全国の書店やミュージアムショップへの委託・卸販売など、店舗の運営と平行させて事業展開を行った。

「いえもにあ 2 (オンライン)」、「神保町ヴンダーカンマー (東京)」、「京都ヴンダーカンマー」、「きのこづくしフェア【ウサギノネドコ東京店】」、「苔こけコケ展 (京都)」、「骨骨展【舍利殿】」、「虫ん展【舍利殿】」など、生き物をテーマにしたイベントに参加した。ネット販売にも力を入れ、緊急事態宣言下の 4 月～6 月は多くの方々にご利用いただいた。

2021 年に企画した新商品は、「アンダーグラウンド T シャツ」、「アンダーグラウンドトートバッグ」、「大阪平野の地質断面図<地下鉄中央線沿い>マグカップ」、「大阪層群の総合層序図クリアファイル」、「外来生物バッジ」ほか。

[場 所]

大阪市立自然史博物館ほか各種学会・イベントなど

[日 時]

2021 年通年

[対象者]

一般来館者・各種学会・イベント参加者等

3. ボランティア事業

実施なし

4. 出版事業

[内 容]

自然史科学の書籍の発刊企画を行い、自然観察を通じて自然史科学の普及に努める準備をした。

5. 調査研究受託事業

[内 容]

自然史科学の振興のための貝塚市自然環境基本調査事業、能勢町生物多様性基礎調査・生きものマップ策定事業、けいはんな記念公園での生物多様性調査等を受託・実施した。

[日 時]

2021 年通年

[場 所]

大阪府内など

6. 普及教育事業

[内 容]

自然史科学の普及教育のため各種イベント・事業のデザインやイラスト、チラシ・資料・看板等作成、ワークショップなどを受託・実施した。また、博物館等維持管理の一環として大阪市立自然史博物館子ども向けワークショップ業務、「アンダーグラウンド展」キッズマップ、キッズパネルの企画デザインを受託実施した。「いばらきいきもの博」運営業務等を受託実施した。

[場 所]

大阪市立自然史博物館、大阪府内など

[実施日時]

2021 年通年

7. 自然保護・自然環境保全に関する事業

関西自然保護機構

[内 容]

関西自然保護機構を組織し、会誌の発行、シンポジウムの開催、研究支援事業の実施、自然保護に関する提言、調査研究の受託、その他機構の目的を達成するために必要な事業を実施した。

[場 所]

大阪市立自然史博物館、大阪府内など

[日 時]

2021 年通年

8. 施設運営管理事業

高槻市立自然博物館の施設管理運営事業

[内 容]

自然史科学の振興普及および自然保護・自然環境の保全に関する体験施設の運営管理事業として、高槻市立自然博物館(前高槻市芥川緑地資料館)の施設管理運営事業を、地元の NPO 法人芥川倶楽部と大阪自然史センターが共同で「あくあびあ芥川共同活動体」を組織し、センターが主に人事経理総務部門を受け持ち、高槻市の仕様に基づき施設の維持管理及び博物館運営に取り組んだ。

[場 所]

高槻市南平台 5-59-1 高槻市立自然博物館

[事業期間] 2017 年度から 2021 年度末まで

Ⅲ 社員総会の開催状況

[名 称] 2020年度(第20)定期総会
[場 所] 大阪市立自然史博物館会議室本部 Zoom 会議
[日 時] 2021年2月6日(土)午後3時00分~4時00分
[出席者数] 60名 (社員総数 72名 本人出席 35名、委任状出席 25名)
[内 容]

議 事

第1号議案. 2020年度事業報告(事業報告書参照)

事務局から定款記載の事業を例年どおり実施したことが報告され、出席社員の満場の一致をもって2020年度事業報告を承認した。

第2号議案. 2020年度収支決算報告(財産目録、貸借対照表、損益計算書、活動計算書参照)

事務局から決算内容が説明され、監事から監査報告があり、出席社員の満場の一致をもって2020年度決算を承認した。

第3号議案. 2021・2022年度事業計画(事業計画書参照)

事務局から定款記載の事業を実施する旨の提案説明があり、出席社員の満場の一致をもって2021・2022年度事業計画を承認した。

第4号議案. 2021・2022年度活動予算(活動予算書参照)

事務局から活動予算について提案説明し、出席社員の満場の一致をもって2021・2022年度予算を承認した。

第5号議案. 役員改選について

議長は、役員全員が任期満了につきその選任を議場に諮ったところ出席社員の満場の一致をもって次の者が役員に選任され、被選任者は、いずれもその就任を承諾した。

理事(再任)13名

梅原 徹・道盛 正樹・奥平 敬元・白木 江都子・波戸岡(前迫) ゆり・井上 淳
丸山 健一郎・楠井 晴雄・上田(川上) 和歌子・中田 兼介・乾 公正・渡邊 岳志
木村(米澤) 里美

理事(新任)1名

平井 規央

監事(再任)2名

左木山 祝一・三宅 卓

理事任期満了

天満 和久

以上の議案について事務局より一部誤植を修正し、また、所轄庁の指示に基づき文言を修正することがある旨を説明し、出席社員の満場の一致をもって承認した。

Ⅳ 理事会の開催状況

第1回理事会

[名 称] 2021年度第1回理事会
[場 所] Zoom 会議(本部事務局)
[日 時] 2021年2月6日(土)午後2時00分~2時50分
[出席者数] 14名 (総数14名 本人出席 13名、議決権行使書 1名)
[内 容]
議 事

議題 1. 総会提出議案について(総会資料参照)

議題 2. 役員選出(案)

理事(再任) 13名

梅原 徹・道盛 正樹・奥平 敬元・白木 江都子・波戸岡(前迫) ゆり・井上 淳・丸山 健一郎
楠井 晴雄・上田(川上) 和歌子・中田 兼介・乾 公正・渡邊 岳志・木村(米澤) 里美

理事(新任) 1名

平井 規央

監事(再任) 2名

左木山 祝一・三宅 卓

理事任期満了

天満 和久

第2回理事会

[名 称] 2021年度第2回理事会

[場 所] Zoom会議(本部事務局)

[日 時] 2021年2月8日(土)午後4時00分~4時30分

[出席者数] 14名 (総数14名 本人出席 14名)

[内 容]

議 事

議題 1 理事長の選任について

議長は定款第13条の規定に基づき、理事長1名を選任したい旨を述べ、慎重に協議した結果、出席理事全員の一致をもって梅原 徹氏が選任された。なお、被選任者は、席上、即時、その就任を承諾した。

第3回理事会

[名 称] 2021年度第3回理事会

[場 所] Zoom会議

[日 時] 2021年3月27日(土)午後3時00分~4時30分

[出席者数] 12名 (総数14名 本人出席 10名、議決権行使書 2名)

[内 容]

議 事

議題 1 事務局・執行体制及び職員待遇にかかる就業規則等の整備について

(ア) 2021年4月からの昇給について

職員の勤務年数・職務能力等を査定、最低賃金の上昇等も考慮し事務局案の通りとする。

(イ) 学芸員・専門職手当を設けることとし4月1日より就業規則の改正を行う。

(就業規則改正案参照)

(ウ) 契約更新時に服務規律と秘密保持に関する誓約書をとる。(誓約書参照)

(エ) 勤務体制について

*週4日勤務の職員が個人の都合により週3日勤務になったので現在ショップに来てもらっているアルバイトの人を週1日ていど事務局周りの仕事に入ってもらおう。

*あくびの昆虫担当学芸員1名を4月より採用する。

議題 2 2020-2021年度事業の進捗について

① ショップについてはコロナ対策の対応をし現行通りとする。

② ワークショップは現場・動画作成等状況に応じ対応する。

③ 能勢町の生きものマップ・学校博物館の動画作成は3月末納品予定。

④ けいはんな公園のコケ・シダ・キノコの調査予定(契約未)

⑤ はく製作成業務やパンフレット作成業務等予定。

議題3 未収金の処理について

大阪みどりのトラスト協会よりの「三草山ゼフィルス森の卵等調査委託業務」(H27) 210,600円が未収金のままになっている。

トラスト協会によれば未払い分として残っていないとの事。(当時の担当者は退職)

センターの業務担当者に報告書の完了など詳細を確認し、次回理事会で決める。

報告 監督官庁への届け出事務について

2020年度の提出書類については法務局・大阪市役所・大阪府庁に提出済み。

その他

*川端館長が3月末で定年であったが、4月1日からも継続される。

*大阪市立自然史博物館との協力協定書を現状に合わせ見直してみる。

第4回理事会

[名称] 2021年度第4回理事会

[場所] Zoom会議室

[日時] 2021年8月22日(日)午後4時00分～6時10分

[出席者数] 13名 (総数14名 本人出席13名、議決権行使書0名)

[内容]

議事

議題1 事務局執行体制について

2人の退職案件について、事務局から経緯説明。1人は12月末退職予定で本人了解済み。

もう1人は、突然の退職意思表示だったため、不利益が起らぬよう関係機関に確認しながら進め、7月27日付で退職とし、8月17日諸手続きしている。業務関連の理事から2人とも長年センター活動に深くかかわって事業進展に寄与していただいたことへの感謝の発言があった。今後は速やかに事務局体制を整えることとする。

議題2 2021年度上半期事業の進捗について

事務局から説明。コロナ禍の時勢が諸事業に反映されている。友の会会員数の伸び悩み、行事・イベントの中止や代替実施など関係機関と協議しながら進めている。上半期現金収支については、堅調に推移しているが、特展がらみのショップ展開は低調となった。今後のコロナ対策に即応し、諸事業を展開していく。通年の受託業務のほか、能勢町生物多様性基礎調査事業、けいはんな記念公園生物多様性調査事業を関係者の協力を得ながら実施している。

議題3 未収金の処理について

前回理事会以降、コロナ禍の諸事情で予定していた協議の機会が作れていない。すでに債権はないことも念頭入れ、業務担当者に報告の完了など情報収集や協議を進め経緯を明確にし、次回理事会に報告する。

第5回理事会

[名称] 2021年度第5回理事会

[場所] Zoom会議室

[日時] 2021年12月25日(土)午後4時00分～6時20分

[出席者数] 14名 (総数14名 本人出席14名)

[内容]

議事

議題1 2021年度・2022年度の事務・事業について(事務局資料参照)

- ・2021年度収支の状況(決算見込み) 寄付受領状況について
- ・2021年度事業の進捗について

・2022年度事業計画・予算について

博物館休館に伴うミュージアムショップの閉鎖や受託事業の減少などにより事業収入は減少したが、職員勤務体制の縮小(業務縮小に応じた勤務日数の調整)・通販の強化(ホームページほか SNS 等の利用)や支援寄附金等で対応した。

特に友の会の会員数の減少やショップ売上の伸び悩みが目立ったが、他事業については赤字はなさそう、棚卸等を考慮すればトータルは黒字で終われそう。

来年度については今年度並みの事業が続くと思われるので、予算はほぼ同じとする。

ミュージアムショップ、博物館ワークショップ、高槻市立自然博物館は来期も継続予定。

現在、能勢町、けいはんな公園、剥製修復等の事業は継続中。

・未収金処理について

2014年にトラスト協会より受注をうけた三草山調査の未収金について長年そのままになっていたの、担当者に確認したところ、調査は行ったが、データーを成果物として納品していないことが判明した。

年数も経っているし、納品もしていないので欠損として処理する。

今後は、委託事業の進捗確認を都度行い、懸念のある場合は対応策を理事会で検討するなど再発防止に努めることとした。

議題2 事務局・執行体制及び職員処遇について

12月賞与については規定通りの支給とする。

8月、12月に1名づつ退職者があり、2名の年次雇用と1名のアルバイトを採用。

1月に現在軸になっている4名を中心に今後の業務体制を見直す。

議題4 総会・理事会の開催(案)について

・日時：2022年2月5日 午後1時から理事会

午後3時から総会開催予定

・場所：大阪市立自然史博物館会議室 (Zoom 会議方式)

Zoom 会議室 (大阪自然史センター総会 20220205 Zoom ミーティング)

アカウントは未設定です。